

## 2021年度入学生：外国語科目履修ガイダンス資料

この用紙は大切に保管しておくこと

2021年度入学生は、『都市大スタンダード 2.0』カリキュラムのもと外国語科目の履修を行います。本資料を熟読し、計画的で責任ある履修を心がけてください。

### **重要** プレースメントテスト実施のお知らせ

新入生はプレースメントテストとしてオンライン TOEIC の受験が義務付けられています。TAP 申込者を含め、全新入生が対象となります。

試験実施期間：4月3日 正午～4月9日 15:00（厳守）

### 申し込み方法

皆さんの学生メールアドレス（g21.....@tcu.ac.jp）に TOEIC から招待メールが送られています。メールの指示に従い、各自で期限内に受験してください。

※ 入学手続き時期によっては TOEIC メール送信の日時および受験可能期間が異なります。当該者には外国語共通教育センターより別途ご連絡します。

- この試験の結果を踏まえて、英語必修科目のレベル分けを行います。
- 試験は1時間半ほどかかります。
- パソコン（推奨）もしくはタブレットで受験してください。スマートフォンは非対応です。
- **注意：正当な理由がない未受験者は、英語必修科目を履修できません。**
- 機器環境が整っておらず受験ができない学生は、大学構内で受験が可能です。

希望者は**4月4日**までに以下のフォームから申請してください（後日の申請は無効）。

[https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MD\\_sRk8tUEKC4TckENIyCHY06HBvcgFDpmrjP96rk65UMDEyVki5TDIUTThJMEYzMVhXS0JKVU5GOS4u](https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MD_sRk8tUEKC4TckENIyCHY06HBvcgFDpmrjP96rk65UMDEyVki5TDIUTThJMEYzMVhXS0JKVU5GOS4u)

外国語必修科目クラス分け結果は、**4月12日**までに WebClass 新入生ガイダンスコースおよびポータルで公表します。必ず指定されたクラスで受講するようにしてください。

※ Communication Skills の第1回目はクラス分け時期の関係で休講となります。ただし、後日クラス確定後に補講的な課題が出題されます。

2021年度4月9日 1・2限 Communication Skills (クラス III・クラス IV)

2021年度4月12日 2・3限 Communication Skills (クラス I・クラス II)

## 1 年次英語必修科目

### (1) 英語必修科目の受講時期、単位数、開講システム

開講時期	科目	略称	単位	開講システム
前期	Communication Skills (1)	CS(1)	1	週 1 回、14 週完結 (セメスター)
後期	Communication Skills (2)	CS(2)		

前期前半	Reading and Writing (1a)	RW(1a)	各 0.5	週 1 回、7 週完結 (クォーター)
前期後半	Reading and Writing (1b)	RW(1b)		
後期前半	Reading and Writing (2a)	RW(2a)		
後期後半	Reading and Writing (2b)	RW(2b)		

### (2) クラスレベルと説明

レベル	スコア目安	授業の特徴
上級	TOEIC 550 以上	授業で使用する言語は英語のみ。ディスカッションやプレゼンテーションなど様々な活動を通じた対話型の授業が進められる。英語のみで書かれた教材を使用して読解力を高めると共に、論旨が明確な文章が書けるような力も養う。比較的少人数のクラスとなるため、教員と密接な関係が築きやすく、クラスメイトとの絆も深めやすい。将来留学を考えている学生はもちろんのこと、積極的に英語力の向上を目指そうとする学生に適した内容の授業となる。
中級	TOEIC 545   TOEIC 315	基本的な文法事項はおおよそ理解している、長文も大筋は理解できる、リスニングもある程度対応できるといった学生向けのレベル。中級下位クラスでは基本的に日本語での授業を行うが、上位クラスでは英語のみあるいは英語を併用した授業となることもある。両科目とも初級レベルと同じ教科書を使用するが、授業では教科書以外の応用練習（別の読み物の講読、文章の要約、自分の考えを書いたり話したりする練習など）も行う。
初級	TOEIC 310   TOEIC 230	どのクラスも基本的に授業は日本語で進められる。文法事項の理解にムラがある、長文やリスニングも苦手、断片的な理解に留まるといった学生向けのレベルで、身近な話題について書かれた 350～400 語程度の英文を使用した読解演習を通して、中学中級から高校程度の英語の復習をし、基本語彙、基礎文法および構文に関する知識を確実にする。英語を話すことに自信がない学生も、リスニング演習やペア・グループワークなどを通して、英語の発話に慣れ、自信の構築につなげていく。
基礎	TOEIC 225 以下	中学程度の英語の復習が特に必要と感じている学生向けのレベル。250～300 語程度の短めの英文を使用した読解教材を用い、品詞の区別、時制、文章構造など基本的な文法知識を着実に身につけていくほか、平易な英語を使用したセンテンスレベルでの英作文演習も行う。両科目とも基本的に授業は日本語で進められるが、コミュニケーション科目のアクティビティは原則英語のみで行う。しかし、英語初学者レベルの教科書を使用するため、まずは人前で英語を話すことに慣れることから始め、苦手意識の克服にもつなげられる内容となっている。

### (3)教科書

教科書購入手続きについてはポータルサイトに掲示されます。定期的にポータルサイトを確認し、**クラスが分かり次第、すぐに購入手続きをしてください。**クラスによって使用する教科書が異なりますので、購入する際に間違えないよう気を付けること。

レベル	科目区分	教科書
上級	CS・RW	<i>American Headway 3</i> (3rd ed.). Oxford University Press * CSとRWで同じ教科書を使います。
初・中級	CS	<i>Hear Me Out 2</i> . センゲージラーニング
	RW	<i>Success with Reading</i> (Book-2). 成美堂
基礎	CS	<i>Four Corners Level 1</i> (2nd ed). Cambridge University Press
	RW	<i>Changing Times, Changing World</i> . 成美堂

### (4)e-learning

初年次教育における、自律的な学習習慣および英語基礎学力の定着を目的とし、Communication Skills、Reading and Writing 両科目の単位要件として e-learning を導入します。e-learning で規定の進捗を達成していない場合は、成績は付きません（後述）。

導入コース：ALC NetAcademy NEXT 総合英語トレーニングコース（初級・中級・上級）

開講時期	科目	最低進捗率	サブコース
前期	CS(1)	30%	リスニング&スピーキング
後期	CS(2)	80%	

前期前半	RW(1a)	15%	リーディング&ライティング 文法インプット&アウトプット
前期後半	RW(1b)	40%	
後期前半	RW(2a)	60%	
後期後半	RW(2b)	80%	

- e-learning のコースレベルは、配属された必修科目クラスのレベルにより決まります。
- 各科目の最終授業日 23:59 までに上記の最低進捗率を満たさない場合、単位は与えられません。
- **継続的な自学自習を心がけてください。**進捗が一度でも滞った場合は、後で挽回することが難しくなります。
- 担当教員は学習履歴や経過時間など詳細な情報にアクセスします。適当に解答するなど不誠実な実施は**不正行為**となります。発覚した場合は当該科目は不可となり、履修取り消しなどの措置が取られることがあります。
- クラスによっては e-learning 課題を授業で実施することがあります。授業担当教員の指示に従ってください。

## (5)成績

2/3 以上の出席、期末試験の受験、および e-learning 進捗率を満たすことが成績判定の最低条件です。

- 評価基準の内訳や授業内テストの内容・回数等は担当教員によって異なるので、上記ルールも含めて、各クラスの初回授業で教員からの説明を必ず確認してください。
- 下のレベルのほうが、単位が取りやすいというわけではありません。上のレベルの方が「秀」や「優」など良い成績を付与される学生の割合が高くなります。

## (6)再履修について

必修科目において「不可」の成績が付いた場合は、原則として、翌年度以降に「再履修クラス」で受講します。再履修になると、2 年次以降の専門・教養科目が希望通りに履修できなくなるなど、次年度以降の履修計画に大きな影響を及ぼします。

## (7)TAP 参加者

TAP に参加する学生は、必修科目履修において留意すべき事項があります。

- TAP 申込の有無に関わらず、プレースメントテストは受験必須です。その結果を基に e-learning のアカウントが付与されます。積極的に自学自習に取り入れてください。
- TAP 参加者は、必修科目の受講が免除されます。その代わりに TAP 参加者は「留学準備講座」への出席が課されます。スケジュールや教科書などに関する問い合わせは国際部 ([studyabroad@tcu.ac.jp](mailto:studyabroad@tcu.ac.jp))まで。

プログラムを辞退した場合:

- 英語必修科目を履修する必要があります。その場合、当該学期の必修科目に途中から参加することはできず、次年度に再履修となります。
- 1 年次の前期（前期後半）授業終了日までプログラムを正式に辞退した場合は、後期（後期前半）から必修科目に再配属されます。その場合、例外なく前述の e-learning 達成率が単位要件に適用される点に注意してください。

## 2 年次以降 外国語選択科目

カテゴリー	概要
英語選択科目（スキル）	英語運用能力の向上を主眼とする
英語選択科目（教養）	文学、言語、文化・社会に関する教養を深めながら英語を学ぶ
第二外国語科目	英語以外の外国語を学ぶ
共通科目	外国語特別講義 ・ 海外・特別選抜セミナー*

※ 共通科目【海外・特別選抜セミナー】は通常の履修登録の対象とならない。TAP および海外インターンシップ研修を除く、本学が主催する「海外研修プログラム」で取得した単位の互換を認める科目。

- 開講科目の種類は「学修要覧」、開講曜日時限は「授業時間表」の「共通」欄を参照すること。
- 卒業要件単位数を超えて外国語選択科目を履修した場合、超過分は自由選択扱いとなります。
- 履修希望者は、履修登録期間前に**事前履修申請**を行う必要があります。申請に関する情報はポータルサイト

で周知されます。見逃さないように注意してください。

- 各科目で履修者定員があります。履修希望者が定員を超えた場合は、履修者の抽選・選抜が行われます。
- 科目ごとに履修レベルが設定されているので、1 年次学年末に受験した TOEIC IP スコアを参照にして、自分の語学力に見合ったレベルの科目を履修してください。
- 学期により、世田谷キャンパスでは開講されない科目があります。また、他キャンパスで開講されるクラスの履修を希望する場合は、教育支援センターにて所定の手続きを経る必要があります。
- 第二外国語科目（ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、アラビア語、日本語）は、その言語を母語とする学生は履修できません。
- 外国語選択科目についての詳細は、1 年次終了時にポータルや WebClass ページで公示される資料で確認してください。

### **卒業要件**

学部・学科・所属コースにより進級や卒業に必要な単位数が異なります。配布された学習要覧を参照してください。

### **基礎学力調査試験（オンライン TOEIC IP）**

新入生オリエンテーション期間内、1 年次末および 3 年次後期の計 3 回実施します。TAP 申込者を含め、これらすべての試験を全員が必ず受験する必要があります。

- 入学直後：試験結果に基づき、英語必修科目は基礎・初級・中級・上級の 4 レベルにクラス分けされます。
- 1 年次末：1 年次終了時のレベルを測ります。この試験を受験しなかった場合は、2 年次に英語選択科目を履修する際、希望する科目が履修できなくなるなどの不利益を被ります。
- 3 年次後期：就職活動を見据えた目標設定を行ったり、スコアを実際に就職活動に活用したりできます。
- 試験結果はスコアレポートとして返却され、就職活動など公の場で使用することも可能です。
- スコアレポートは受験形態によって扱いが異なります。

オンライン受験の場合： 結果のダウンロードが可能です。発効には期限があります。

会場受験の場合： 学科を通して返却されます。原則、再発行はできないので注意。

### **その他**

- 学内掲示板、ポータルサイト、学生メールアドレスを随時チェックしてください。
- 外国語科目の履修については、自身の所属する学科の履修担当教員と相談してください。
- 外国語共通教育センター専任教員がオフィスアワーを設けているので活用してください。日時はポータルサイトや本学のホームページで確認すること。
- 教育講師による「学習相談」も実施しています。日時等の詳細は図書館のホームページで確認すること。

### **問い合わせ**

以下のメールアドレスにて受け付けます。学籍番号・氏名を明記の上、必ず「件名」を入れて連絡してください。

外国語必修科目の履修について： [sclangkyomu@tcu.ac.jp](mailto:sclangkyomu@tcu.ac.jp)

留学プログラム・留学準備講座： [studyabroad@tcu.ac.jp](mailto:studyabroad@tcu.ac.jp)

以上